

実施日：5月20日（2校時・3校時）	
領 域：④総合的な学習の時間	
取組名：「ネット依存」について考えよう（資料名：中日新聞記事・朝日新聞記事）	
対 象：5年生	実施場所：教室
ア ねらい 長時間、情報メディアを利用し続けると健康上の問題や人間関係上の問題が生じるおそれがあることを理解し、健康で健全な成長を守るための行動を実践しようとする態度を育てる。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ パソコン・携帯電話・ゲーム機を使ってできることを考える。 情報メディアは便利で日常生活に必要不可欠なものであることをおさえる。 ・ ワークシートの「8つの質問」に答え、依存度をチェックする。 この結果は、ネット依存傾向に対する一つの参考であり、病氣と決まったわけではないことをおさえる。 ・ ネット依存とは「ネットを使いすぎることによって、日常生活や社会生活に支障をきたすこと」だと知る。 ・ 2つの新聞記事の問題点からネット依存について考える。 問題だと思う部分に下線を引かせ、思ったことを書かせる。 ・ どうすればネット依存にならないのかを考え、ワークシートに記入する。 自分の生活をイメージさせながら考えさせる。あまり使用しない児童については記事から考えさせる。 ・ ネット依存について、わかったことや感想を書く。ワークシートは持ち帰り保護者への啓発につなげる。 	
ウ 連携先：家庭	
エ 連携にむけての取組 授業で使用したワークシートを持ち帰り、家庭でのルール作りなど啓発活動につなげる。	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5年生だけでなく、6年生でも同様の授業を行い、校内での取組の強化に努めた。 ・ 普段からネットの利用が原因で生活リズムが崩れている児童に声をかけやすくなり、児童のネット利用について把握しやすくなった。 	
カ 評価の方法 ワークシート	
キ 成果 授業後、休み時間などでの児童の会話で、ネットを用いたゲームを使用する時間についての話が増えた。使用時間については危機感をもてたようである。	
ク 課題 家庭でのネット使用が見えにくいため、点検や評価が行いにくかった。引き続き、ネット依存だけでなく、ネットに関するトラブル全般について啓発活動を続けていく必要がある。	